

新市政のスタートと新たな年の幕開けにあたって

# 文化を大切にしたい 希望あふれるまちに

上越市長 中川 幹太

明けましておめでとうございます。11月9日に市長に就任させていただきます。早いものでもう2カ月になります。

私は20年前に、自然と歴史・文化あふれるこのまちと、人生を楽しみながら暮らしている人々にひかれ、桑取地区に移住しました。大阪や東京などで暮らしてきた私にとって、毎日が感動の日々でした。庭先に自生する山菜、集落を潤す豊富な水、玄關を開けると飛び込んでくる蛭、どこに星座があるのか見分けがつかない程の満天の星空、一夜にして広がる白銀の世界、そして互いに支え合いながら生

活している人々…。地域を囲む山々には、燃料や家の材料となる樹木や、食卓を彩る四季折々の食材など宝物があふれ、茅葺きの屋根や各家庭で使われている民具には、生活の知恵が詰まっていることを知りました。親鸞聖人、上杉謙信、前島密、川上善兵衛、坂口謹一郎など、多くの偉人がこの地で偉大な足跡を残しています。人口の減少と少子化・高齢化が急速に進む中にも、この上越市のあふれる魅力子どもや孫に伝え、そして全国、世界へと発信していくことが、私たちの未来を切り開いていくことにつながると信

じています。

今年が希望と夢を生み出すスタートの年になるよう、地域が主役のまちづくりを推進するとともに、ふるさとへの誇りと愛情を育てる取り組みを実践し、今を生きる市民の皆様や次代を担う子どもたちが幸せになれるよう、誠心誠意、全力を注いでまいりますので、皆様のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和4年新年のご挨拶

# 変革の年と健やかな暮らしへの思い

上越市議会議員 飯塚 義隆

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては希望に輝く新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は昭和61年以来の豪雪が市民生活に大きな影響を与えたことから、市に対し、早期の道路交通の確保や要援護世帯への除雪支援の期間延長などの申入れを緊急に行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、生活困窮世帯等への支援拡大や事業者への継続的支援などの提言を行うなど、市民生活を取り巻く待ったなしの課題へ迅速に対応してきました。

今年、12年ぶりとなる市長交代に伴い行政の施策やその執行体制の変更が提案されています。改めて振り返りますと、日本国憲法93条には、首長と地方議員を住民が直接選挙で選ぶ元代表制を取るとの規定があり、互いに抑制と均衡（チェック＆バランス）を図りながら自治体を運営していくことが期待されています。そして、近年の多様化する民意を背景に、市議会の役割と責任は一層大きくなってきています。

市政の大きな変革を迎えても、全ての市民が健やかに生き生きと暮らせるまちであってほしい

という市議会の想いは変わりません。議員一同、これからも市民のより良い暮らしのため、全力を尽くして参ります。結びに、この一年が、市民の皆様にとりまして、健やかで幸せに満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

